

令和2年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラスキッズ柏ルーム

集計日:令和 2年 11月 17日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	法定基準は、遵守しています。個別トレーニングの際には、パーティションの組み方の工夫、反対にパーティションが邪魔になる時は事務所にしまうことでスペースの確保を行っています。	個別トレーニングが、3人の時のスペース確保については、今後も検討して対応をしていきます。
②職員の配置数は適切であるか	3	2	職員の配置は、毎日指導員3名(児童発達支援管理責任者を除く)の配置を行っています。法令では、10名定員のところ指導員2名の配置ですが、ハッピーテラスでは加配加算を取って対応しています。職員の体調不良など、急遽職員が欠席する際には、同法人内でシフト調整やヘルプ要請を行っています。	職員の研修期間中の人材確保が課題ですが、左記同様に同法人内で人員調整をしております。
③生活空間は、児童に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じた事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	保護者の死角にならないよう、パーティションで区切って対応をしています。	左記の通り、事業所の所在地の関係上、根本的な改善は難しい部分があります。しかし必要に応じて配慮はできるため、要望をお聞かせいただきながら可能な範囲で取り組んでいきます。
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	毎日の掃除と、毎授業ごとに次亜塩素酸水溶液で拭き掃除・換気の徹底を行っています。	コロナ禍でもありますので、今後も衛生管理を徹底して対応をしていきます。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	毎月1回職員会議を実施し、職員の話合いの機会を確保しています。また気づいたその都度、共有する雰囲気を作れています。	シフトでの出勤である関係上、毎月必ずしも全常勤スタッフが参加できないことが課題です。その分、教室長を始めとした教室会議に参加したスタッフからの共有を徹底することで、補っていきます。
⑥保護者等向け評価表(アンケート)により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	年4回、アンケートを実施しています。アンケート結果から、保護者のご意見について可能な範囲で、対応をしています。	より保護者からのご意見が反映できますように、してまいります。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	ホームページ掲載、教室内の保護者待合室にアンケート結果を掲示して対応をしています。	教室掲示物に関しては、一定期間のみに留まっていますので、今後通年での変化が見れますように、対応を検討してまいります。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	社内監査を行い、制度順守に努めています。	第三者による外部評価が受けられていないので、受けられるように対応をしていきます。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	社内研修や、今年度はオンラインケース検討会に参加をしています。	定期的に行っていないので、今後定期的に行えるように対応をしております。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	5	0	保護者と常日頃からコミュニケーションをとり、特に個別支援計画作成前には職員間とも時間をとって話し、考え方や希望にそえるようにしています。	職員1人1人のアセスメント制度が上げられるように、研修等での勉強する機会を作っていきます。
⑪子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	放デイでは、弊社独自のアセスメントツールがありますが、児発はないのが現状です。	標準化されたアセスメントツールの作成・職員間で差が出ないように勉強会・情報共有機会の確保をしております。
⑫児童発達支援計画等には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	4	0	職員の意見だけでなく、保護者からの要望・相談支援事業所等外部機関の情報も踏まえながら、計画を作成しています。	左記のことが、全利用者にできるように保護者の意向も聞きながら、対応を検討してまいります。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	個別と集団で担当が違う場合には、職員間で共有をするようにしています。	授業内容を考える際には、支援計画を根本において作っています。その子に見合った授業を毎回作るために、困った時の指針が作れるようにしてまいります。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	基本的にはメインが授業を考案しますが、内容の共有・先生の立ち位置などを授業前に共有しています。授業後も気になったことがあれば共有しています。	現状プログラムチームを発足し、同法人の違う事業所とも連携を取り、多角的な視点でプログラム作成ができるようにしてまいります。
⑮活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	5	0	新しいゲームや季節の製作などの提案・実施を随時、行っています。	今後も療育の効果部分を考えながら、利用者が飽きないようにプログラム作成をしております。
⑯子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	5	0	個別担当と集団担当が話し合いを行って、検討しています。時にはサブに入っている職員の意見の聞き取りを行っています。	今後も引き続き、継続をしております。
⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	集団では授業についての共有時間を確保し、その子の特性に合わせて職員の配置や、配慮ポイントなども事前に話し合っています。	毎回、充分な時間が作れるように体制を整えて参ります。
⑱支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	4	1	必ずではありませんが、気になったことを自然と共有し、振り返り時間となっています。	共有はしていますが、しっかり時間とってアウトプットできるように時間確保をしております。
⑲日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	集団ではサブの先生も入力を担当し、分担して入力しています。	個別に関しては、誰も見ておらず、気づかない部分に改善点があるかもしれないので、休みの日の日誌を確認してから業務に取り組む等システムを作っております。
⑳定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	法的には6か月で更新のところを、3か月で見直しを行うことができます。	引き続き、徹底をしております。

①障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	シフト調整をして、対応しています。	今後より、外部との連携が取れるように私たちからも保護者の要望を聞きながら、発信できるようにしていきます。
②母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	発達センターや行政、柏市の児童発達支援連絡会に参加をし、連携を行っています。	まだまだできていない範囲が狭いので、範囲の拡充を図ってまいります。
③移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	保護者からの希望により園訪問や、電話にて情報共有を行っています。	まだまだできていない範囲が狭いので、範囲の拡充を図ってまいります。
④移行支援として、小学校や特別支援学校（初等部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	4	希望者のみ情報提供書を作成し、お渡ししています。	弊社系列の放デイとの連携は、行っていますが、学校との連携ができていないので、今後できるように対応をしていきます。
⑤他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	柏市の連絡協議会に参加をして、情報共有を行っています。	今後外部研修等研修機会に参加できるように、シフト調整等してまいります。
⑥保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	イベントを開催した際は、障害のない兄弟も交えての工作を実施し、定形発達の子どもの理解に努めています。	現状機会としては、ほほないので機会が増やせるようにしてまいります。
⑦協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	可能な限り参加しています。	参加回数が少ないので、開催情報等を収集してより参加できるようにしてまいります。
⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	毎トレーニング時にフィードバックの時間をと取り、希望があれば常時面談も行っていきます。	例年よりもコロナ感染拡大防止と言う観点で、フィードバックの時間が短くなっています。ご希望に応じて、電話でのフィードバックや、面談を実施しています。
⑨保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	2	フィードバックの時間に、対応の仕方などについて保護者支援を行っています。	以前はペアレントトレーニングという枠がありましたが、現在はありません。今後保護者のご意見をお聞きしながら、検討していきます。
⑩運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	契約時に時間をとり、説明をしています。また、教室内でいつでも読めるように環境をつくっています。	料金の部分は複雑ですので、よりわかりやすい説明ができるように検索してまいります。
⑪児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	支援計画を更新する度に、説明をしています。	専門用語を使わずに、より保護者にわかりやすい説明ができるように、努力してまいります。
⑫定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	毎回、保護者とのフィードバックの時間を利用して聞き取りをして支援をしています。	保護者の方が相談しやすい、雰囲気作り・環境づくりをしてまいります。
⑬父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	就学についての説明会等保護者だけが集まる機会を作っています。	積極的に保護者同士をつなげることはできていないので、今後茶話会のような機会提供を検討していきます。
⑭子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	保護者の様子を見て、面談が必要そうであれば、面談日を別日で設定対応をしています。	保護者の方が相談しやすい、雰囲気作り・環境づくりをしてまいります。
⑮定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3	定期的な会報は行っていませんが、アンケート結果など必要なものは教室に提示をしています。	今後定期的な会報につきましては、保護者からのご要望を聞きつつ、検討してまいります。
⑯個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	名前が記載してあるものは鍵のある場所に保管しています。	今後も個人情報の取り扱いについては、スタッフ一同声をかけあって、対応してまいります。
⑰障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	子どもや保護者の受け止め方を考慮して伝え方を考えています。また保護者と話す時間を事前に確認し、本人がいない時間にかけるようにしています。	外国人保護者への対応について、今後検討してまいります。
⑱事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	実施できていないのが、現状です。	実施できていないので、今後検討してまいります。
⑲緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	年2回一週間程度で、避難訓練を実施し、通所している子ども達が参加できるように工夫をしています。	職員の動きの練習を今後子ども達と同タイミングで行うようにしてまいります。
⑳事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	問い合わせの段階で聞きとり対応をしています。	予防接種の確認は行っていないので、今後検討して、対応をしていきます。
㉑食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4	契約時の緊急連絡先や、アセスメントシートなどを介しての保護者からの申告によってアレルギーを把握し、対応を行っています。現在、医師の指示書が必要となるお子様のご利用はありませんが、必要に応じて対応を行っていきます。	アレルギーがある場合で、医師の指示書を求めたことが現状ありませんが、今後必要性に応じて、対応してまいります。
㉒ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	年間でヒヤリハットの発生状況を整理しています。また、毎回ヒヤリハット報告書を職員間で共有しています。	子ども達が安全に過ごせますように、今後も徹底してまいります。
㉓虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	毎年、定期的に行っています。今年度は、2回外部講師の研修機会に参加をしています。	子ども達が安全に過ごせますように、今後も徹底してまいります。
㉔どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0	職員会議で話し合い、必要に応じて身体拘束の同意書を別途とっています。	契約時に、身体拘束についての説明を該当者だけでなく、皆様にご理解いただけますよう対応してまいります。